

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

多可町長

市町村名 (市町村コード)	兵庫県多可郡多可町 (283657)	
地域名 (地域内農業集落名)	中区 (田野口集落)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年7月21日 (第2回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

当地区は比較的平坦でほ場整備された農地が広がっているが、北部は山に面しており獣害防止対策も欠かさない。うるち米や酒造好適米、黒大豆を中心に作付し、農地の有効活用を図っているが、居住地周辺の狭小な農地や、集落北部の農地では自己保全農地も増えつつあるなか、コスモス等の景観作物を作付し農地として維持を図っている。そのほか近隣集落の認定農業者(個人2名、法人1社)や個人農家も区域内で耕作している。

地区内の農家も高齢化が進み、多くの農家が後継者不明で規模縮小や離農希望者が多く、草刈りや水路掃除等の農業用施設の維持管理作業も年々負担となってきている。

【基礎データ】

- ・農家軒数 20軒
- ・主な作物 水稻(うるち米、酒造好適米)、黒大豆、一般野菜、景観作物

(2) 地域における農業の将来の在り方

農地利用は水稻や地域の特産である黒大豆、および一般野菜を作付けすることで農地の活用を引き続き行っていく。あわせて近隣集落や認定農業者をはじめとする大規模農家と連携・協力しながら、農地の集約・集積を進めながら地域内の農地を守っていく体制を検討していく。また高齢化により年々負担となってきている農業用施設の維持管理作業については、近隣集落との調整や外部委託等も検討し、獣害対策も含め持続可能な仕組みづくりを構築していく必要がある。

そのほか地域外からの新規就農者や耕作者など、新たな担い手となる農業者の育成についても集落全体で積極的に取り組んでいく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	14.6 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	14.6 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	0 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・農地中間管理機構を活用し、担い手や認定農業者を中心に農地の集積・集約化を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・地権者や耕作者の理解を得ながら農地バンクを活用する。
(3)基盤整備事業への取組方針
・多面的機能支払交付金を活用して水路等の農業用施設の改修を計画的に実施する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・関係機関と連携し地域外からも多様な経営体を募集し後継者育成を図る。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業体等への農作業委託の活用方針
・JAみのりの航空防除

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☐ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ①獣害防止柵の見回りを引き続き実施し、修繕箇所の早期発見に努め獣害被害の防止を図る。
 ⑦多面的機能支払交付金を活用し農業用施設の維持管理を行う。